

# 目次

00	はじめに	3
01	ライフプランニング	10
	家計管理	11
	貯める/増やす	12
	借りる	20
	備える	21
02	金融と経済	23
03	金融トラブル	24
04	最後に	25

## ■ はじめに

<ALL長崎 金融リテラシー向上プロジェクト推進協議会>

### ■ 今日、みなさんにお伝えしたいこと



**金融リテラシーとは、**

**「お金に関する正しい知識や適切な判断力」のことです。  
金融リテラシーを身につけ「生きる力」をつけましょう。**



**「生きる力」をつけることは、**

**将来の夢を叶えるため、生涯にわたって豊かな人生を送る  
ために大切なことです。**

金融リテラシーは自分が  
生きていくために大切なこと  
なんだね。



「生きる力」か。  
私たちの近い将来のため、  
ずっと先の未来のために、  
学んでいきましょう！

# みなさんの 将来の **夢** を 教えてください

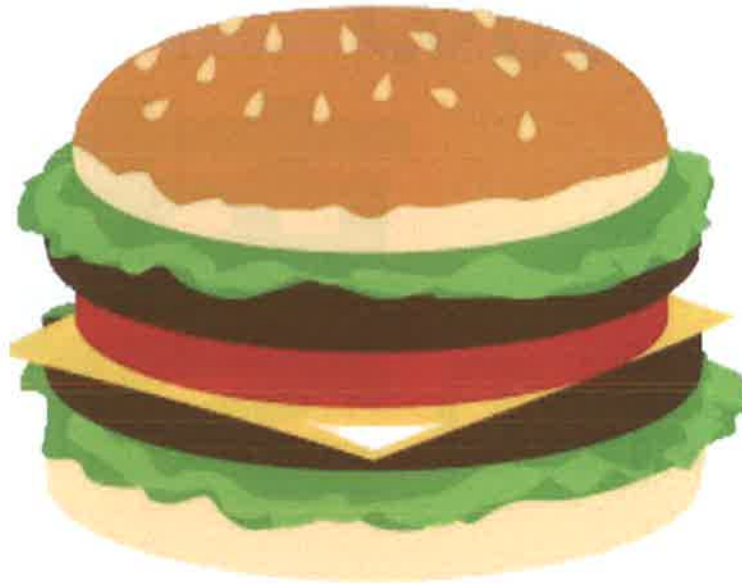
5

夢を叶えるには**お金**が必要です。  
今のうちから**お金の計画**を含めた  
**「生活設計（ライフプラン）」**を  
しっかりたてましょう。

では、そもそもお金って・・・？

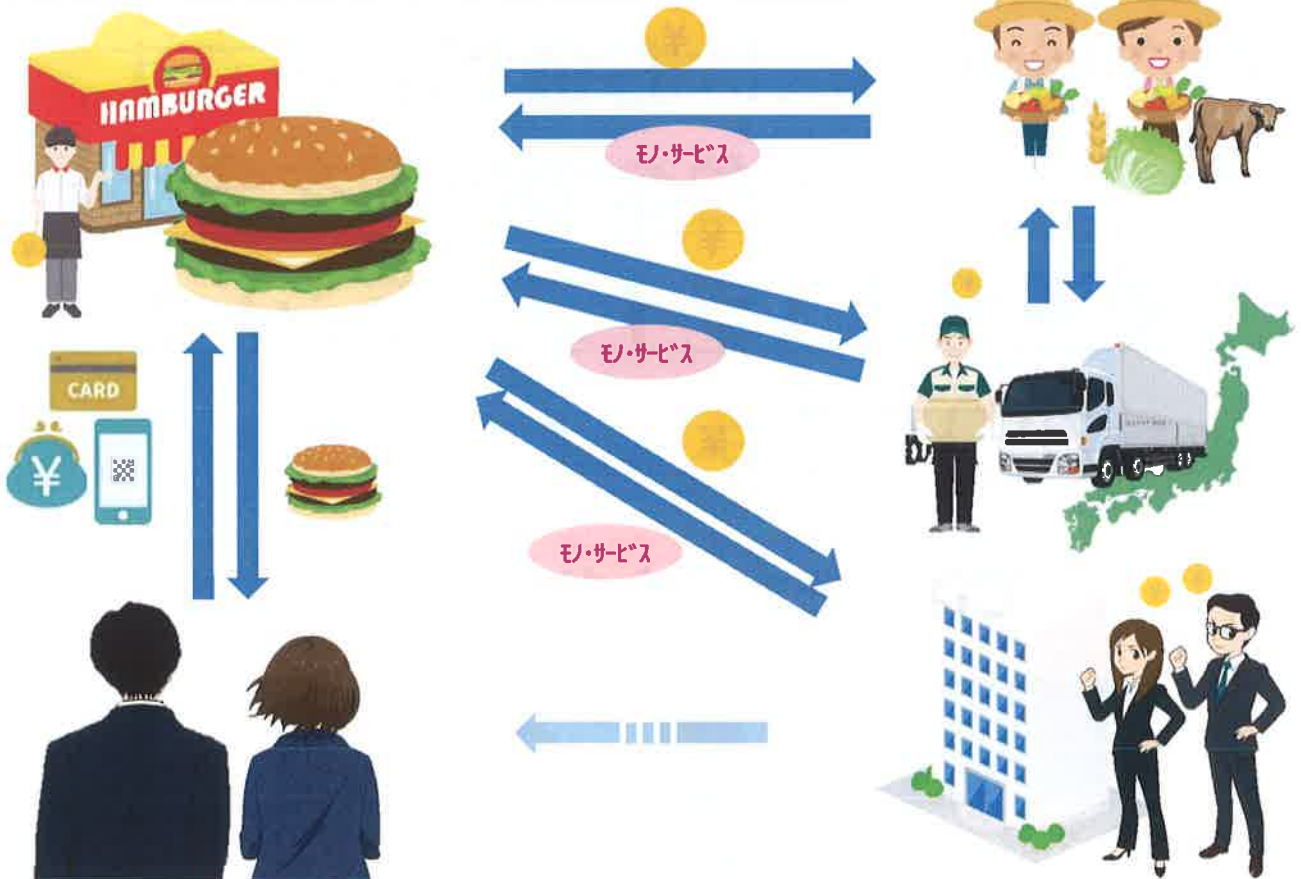


部活や補習の帰りにお腹がすいてハンバーガーショップに寄りました。



1個 = 450円

人が働くことで生み出されるモノ・サービスにお金を払うこと = 経済活動





■ お金の役割について

お金には、①交換（決済）②尺度（ものさし）③保存（貯金）という役割があります。

■ お金の決済方法について

① キャッシュ

物理的な現金（紙幣・硬貨）



② キャッシュレス

現金の授受をせず、支払や受取をデジタル化された価値の移転で行うこと



出典：キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス・ロードマップ2019」（2019年4月）より金融庁作成

「高校生のための金融リテラシー講座（金融庁）<https://www.fsa.go.jp/rules/index.html>をもとに作成 9

ライフプランニング

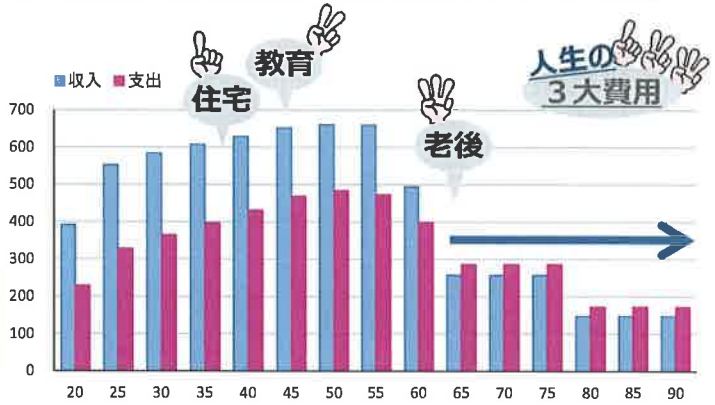
■ お金の計画を含めたライフプランニングがどうして必要なの？

① 雇用形態による年収の違い



推定年収 = 「きまって支給する現金給与額」×12ヶ月 + 「年間賞与その他特別給与額」として試算  
(出所) 厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」

② 一生涯の収入と支出（勤労者家計の平均的な姿）



(出所) 総務省「家計調査」(2022年)、収入は可処分所得、支出は消費支出+土地家屋借入金返済のデータから試算

金融経済教育推進会議コアコンテンツ引用[https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/daigaku\\_core/#download](https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/daigaku_core/#download)

年収に大きな差があるんだなあ。

人生にはたくさんのお金が必要なのね。足りるのかしら・・・。



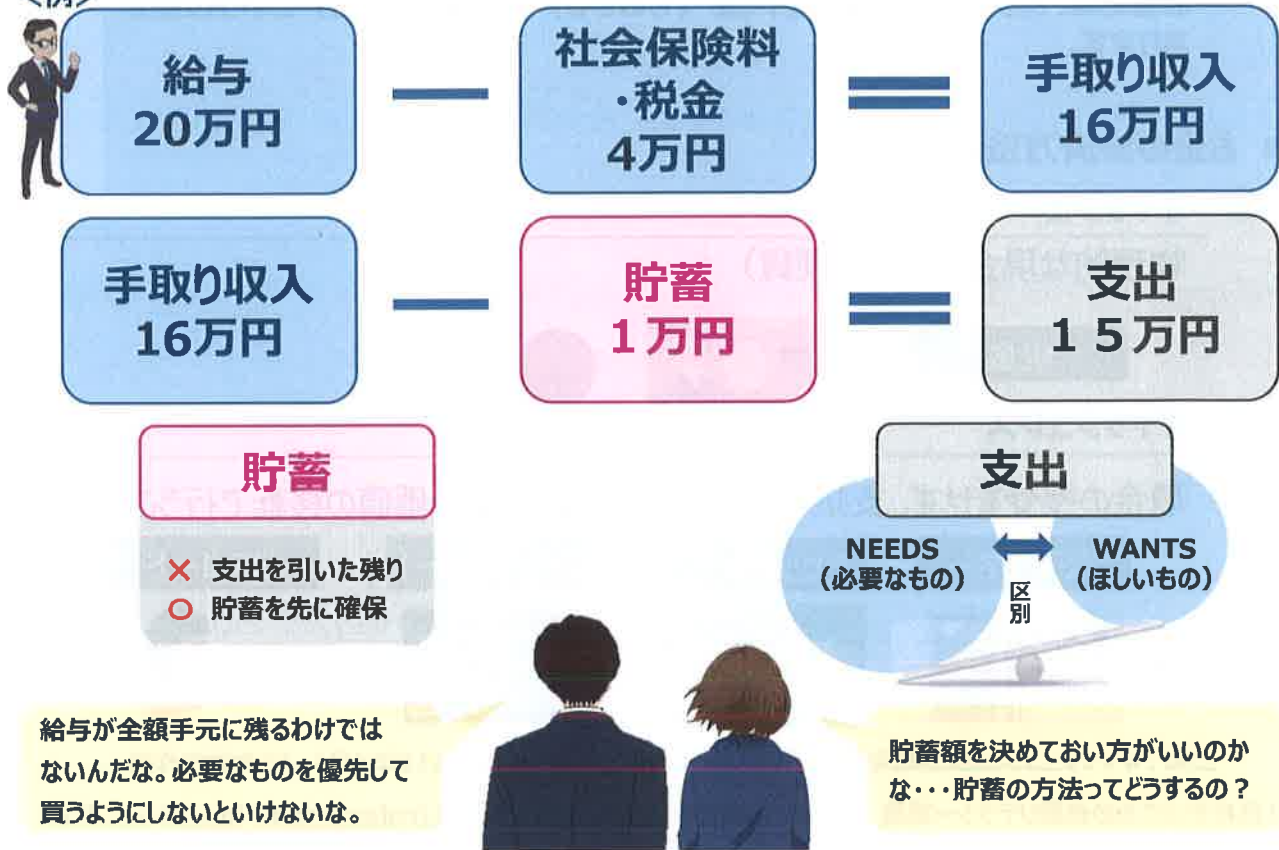
## ■ ライフプランニング（家計管理）

<ALL長崎 金融リテラシー向上プロジェクト推進協議会>

「高校生のための金融リテラシー講座（金融庁）<https://www.fsa.go.jp/rules/index.html>をもとに作成

### ■ 収入と支出のバランスを考える

<例>



## ■ ライフプランニング（貯める/増やす）

<ALL長崎 金融リテラシー向上プロジェクト推進協議会>

### ■ お金の持ち方について①

将来の夢のため、将来の大きな支出のために貯蓄だけでなく資産形成を考えておくことは大切です。



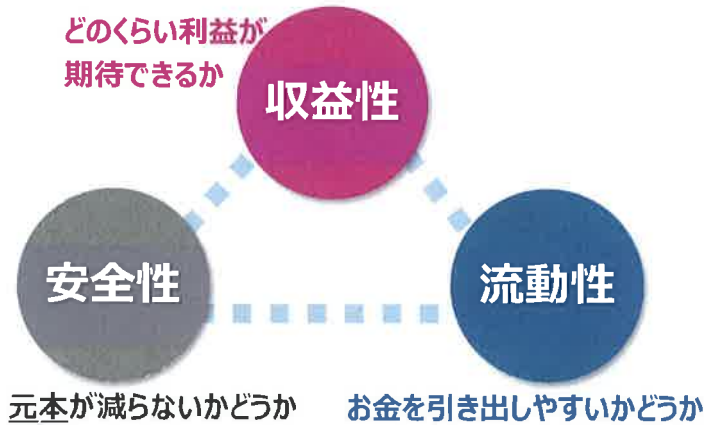
「高校生のための金融リテラシー講座（金融庁）<https://www.fsa.go.jp/rules/index.html>をもとに作成

金融商品にも、いろいろあるんだね。

どういう風に組合せたらいいのかしら？

## ■ お金の持ち方について②

3つの基準すべてを完全に満たす金融商品はありません



低  
↑  
……  
リスク・リターン  
……  
↓  
高

	安全性	収益性	流動性
預金・貯金	◎	△	◎
債券	○	○	△
投資信託	△～○	○～◎	○
株式	△	◎	○

元本とは、金融商品の購入・投資に充てた資金の額。いわゆる元手です

「高校生のための金融リテラシー講座（金融庁） <https://www.fsa.go.jp/rules/index.html> をもとに作成

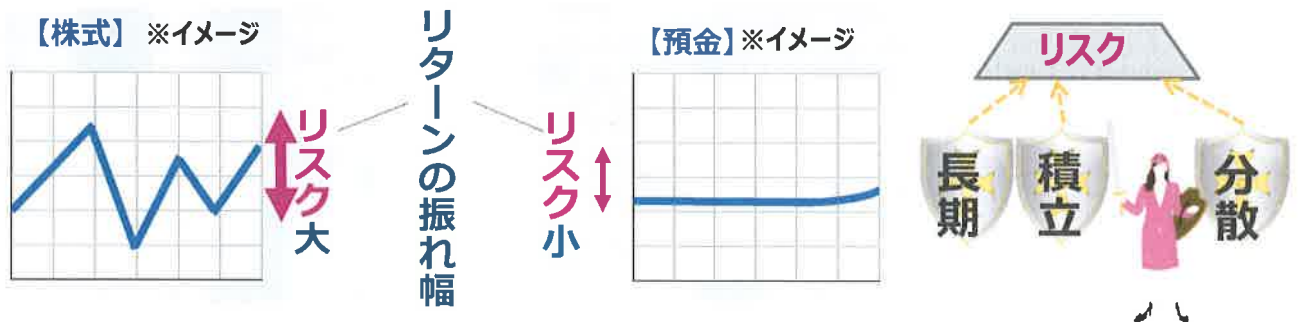
安全性・収益性・流動性、すべてを完全に満たす金融商品はないのか……。



いろいろあるのね……でも、リスクって何だかこわいイメージだわ。

## ■ リスクとは

- ・ お金を運用した結果、得られる利益や損失のことを「リターン」といいます。
- ・ このようなリターンの不確実性の大きさ、振れ幅の大きさのことを「リスク」といいます。
- ・ 「長期」「積立」「分散」によりリスクを軽減することができます。



- 金融商品は自分の意思で選ぶため、利益・損失は自己責任です（自己責任原則）
- そのためにも正しい知識と判断力（金融リテラシー）を身につけましょう！

リスク＝損ってことだけではないんだな。

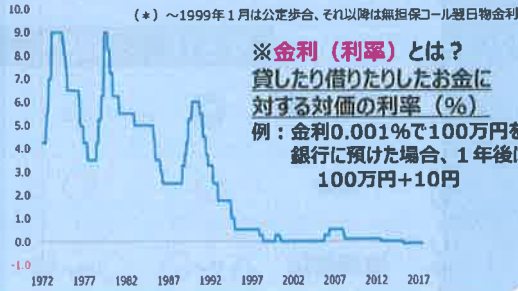


「長期」「積立」「分散」ってどうということかしら。



## ■ どうして資産形成が必要なのでしょうか？

### ① 超低金利のもとで預貯金ではお金は増えない



### ② 物価上昇（インフレ）により価値が目減り



使う目的や時期によって自分に合った金融商品を活用して、豊かな人生を送るために将来に向けて準備していきましょう。

「高校生のための金融リテラシー講座（金融庁） <https://www.fsa.go.jp/rules/index.html>をもとに作成

金利が下がっているから預金や貯金だけで増やすことが期待できないんだな。

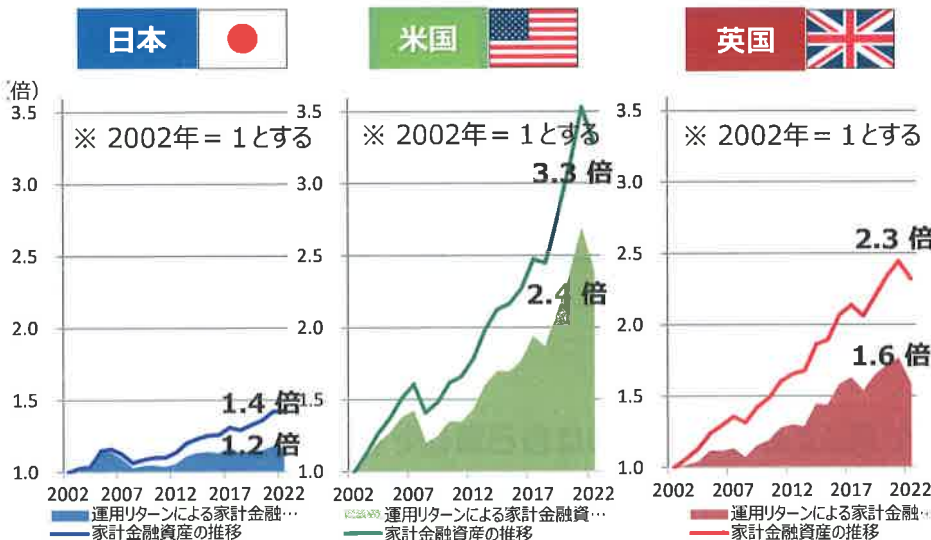


預金や貯金に置いていたらお金が減らないうわけではないのね。

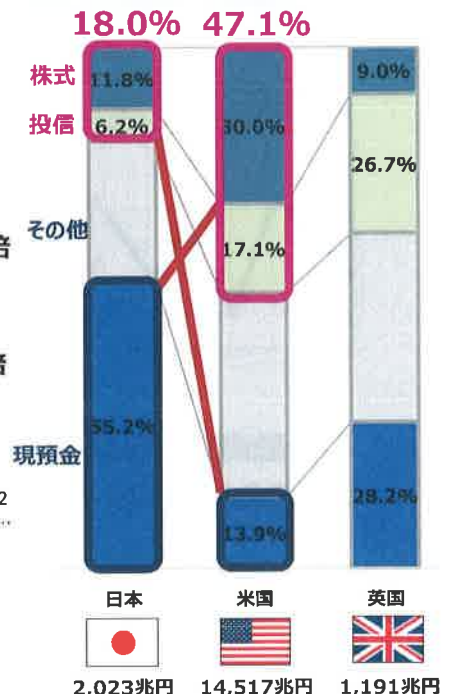
15

## ■ どうして資産形成が必要なのでしょうか？

### 各国の金融資産の推移（2022年末時点）



### 各国の家計金融資産構成比（2022年末時点）



(出所) F R B (Federal Reserve Board)、ONS (Office for National Statistics)、日本銀行より、金融庁作成

(注)22年12月末の為替レートにて換算(1ドル=131.12円、1ポンド=158.466円)

金融経済教育推進会議コアコンテンツ引用[https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/daigaku\\_core/#download](https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/daigaku_core/#download)

## ■ リスクを軽減させるには

リスクを軽減するには「長期」「分散」「積立」が効果的です



### 長期

#### 長期間続ける

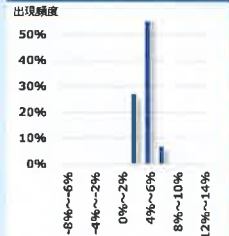
- 例えば、投資信託の価格（基準価額）は上がったりが下がりますが、こうした動きに過度に一喜一憂することなく、積立・分散投資を長期間にわたって続ける方が結果的にパフォーマンスが上がるのが過去の実績です。

保有期間5年



100万円が5年後に  
74万円～176万円

保有期間20年



100万円が20年後に  
186万円～331万円

\*1999年以降、毎月同じ金額ずつ国内外の株式と債券に積立投資を行い、5年間で20年間それぞれ保有した場合についての年間収益率と運用成績を計算したもの(金融庁作成)

### 積立

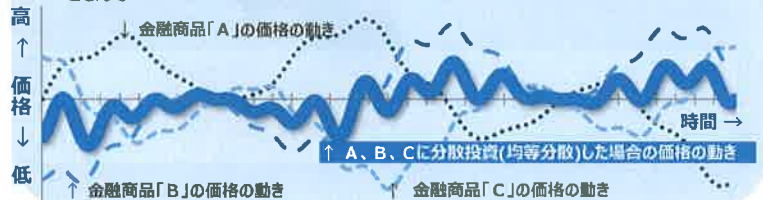
#### 定期的に「続けて」投資する

- 「あらかじめ決まった金額」を「続けて」投資することで、安い時に買わなかったり、高いときにだけ買ってしまおうことを避けられます。
- 積立投資はまとまったお金がなくても、少額からすぐ始められます。

### 分散

#### 「資産の分散」「地域の分散」

- 1つの資産だけでなく値動きの異なる複数の資産に分散（資産の分散）したり、投資先の地域を分散（地域の分散）することでリスクを軽減することが期待できます。



金融経済教育推進会議コアコンテンツ引用[https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/daigaku\\_core/#download](https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/daigaku_core/#download)

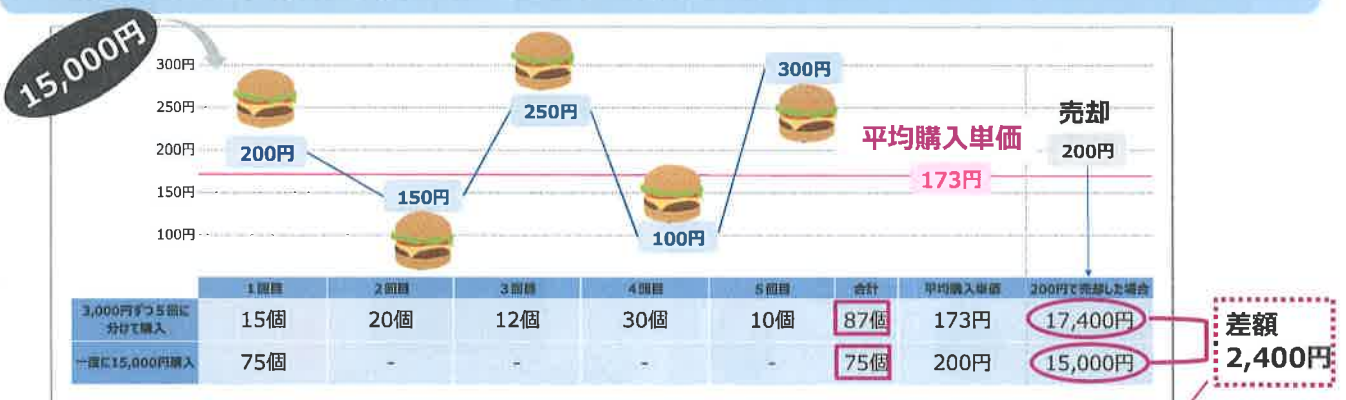
確かに長期や分散することで  
リスクを軽減する効果があること  
がわかるね。



「長期」「分散」「積立」って  
どうしたらいいのかしら？

## ■ 積立投資信託とは

- 「あらかじめ決まった金額」を「続けて」投資することにより安いときに買わなかったり、高いときにだけ買ってしまおうことを防ぐことができます。



## ■ NISAを知ろう！

- NISAとは株や投資信託の運用益（売却益・配当/分配金）が非課税になる制度です。
- 「長期・積立・分散」でリスクを軽減し、NISAで運用益を非課税にすることができます。

### 役立つサイトの紹介

金融庁 NISA特設サイト  
<http://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/>



まずはサイトを  
チェック！







■ ライフプランニング（借りる）

■ 借りるって？

- お金を「借りる」とは、**将来の収入の先取り**です。計画的な利用が必要です。
- お金を「借りる」と一般的に**利息（金利）**が発生します。元本と利息に両方を返済する必要があります。クレジットカードで借入した場合も**手数料（実質的は金利）**が発生します。
- **金利や借り過ぎに注意し、借りる前に返済イメージを持ちましょう。**

ローン

◆ 「借入」しなかった場合  
利息は発生しないが  
家に住めるのは**60歳**



◆ 「借入」した場合  
借入金額**3,000万円**  
金利**1%**、期間**30年**  
総返済金額**3,480万円**  
**30歳から家に住める**



クレジット



<借入条件>

借入金額 **20万円**  
毎月返済額 **5,000円**  
金利 **16%**

<結果>

総返済金額 **約29万円**  
返済期間 **約5年**  
利息 **約9万円**

借りる時に返す時のことを  
きちんとイメージしておかないと  
いけないな。



クレジットカードでは簡単に借りる  
ことはできるけど利子のことを  
忘れないようにしなкゃ。

## ■ 人生には、様々なリスクがあります。リスクに備えるには・・・？

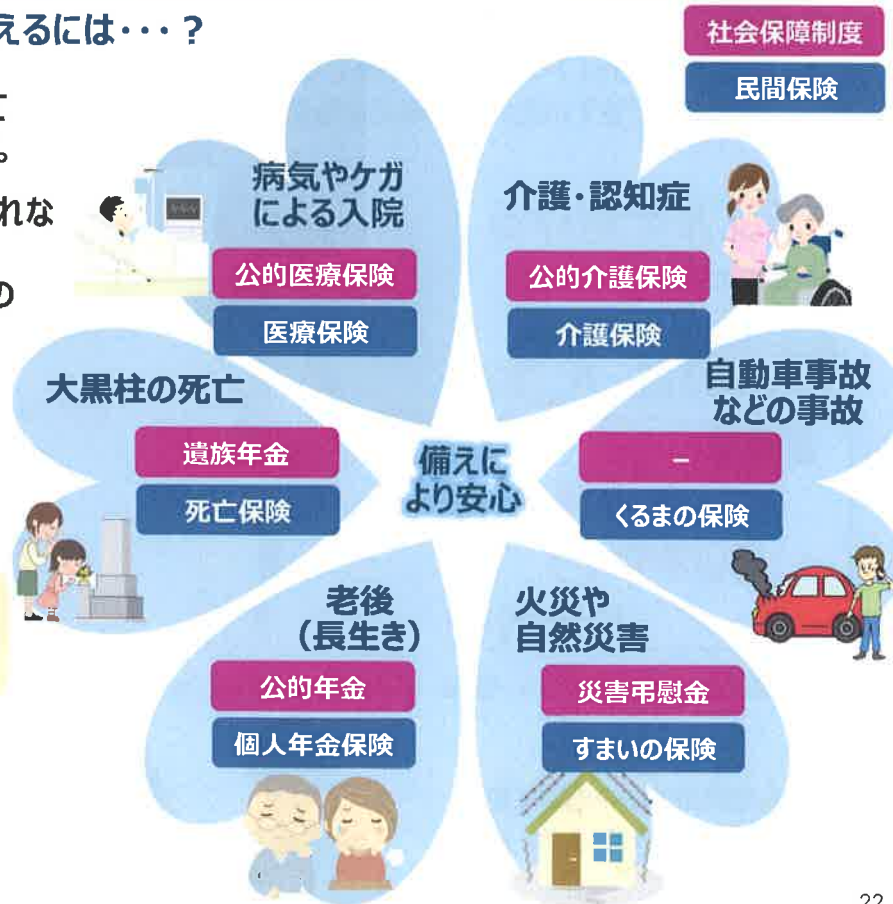


🔦 様々なリスクに備え、みんなで少しずつお金を出し合っ、必要なお金が支払われるという仕組みが「保険」です。

🔦 「発生したら重大な損失となるリスク」を「日頃の少額の保険料支払」に変換する、つまり「リスクの変換」が保険の本質です。

## ■ 人生の様々なリスクに備えるには・・・？

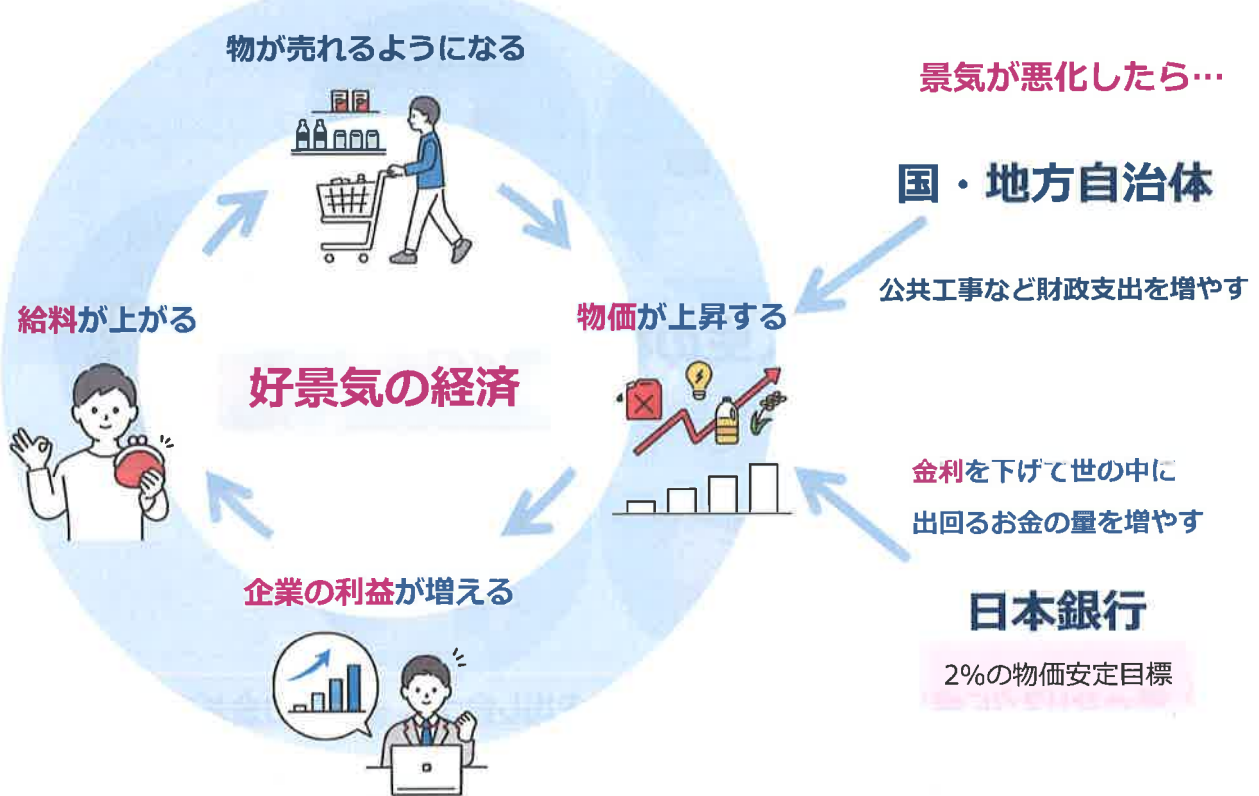
- 日本には、社会基盤として**社会保障制度**があります。
- **社会保障制度**でカバーされない部分について資産を形成したり、**民間保険**※の利用を組み合わせることを検討しましょう。  
※生命保険・損害保険



ライフプランを立てる上で人生のリスクに備えることを考えることも大切ね。



金融・経済はライフプランとも密接に関わりあっています



## 金融トラブル

### ■金融トラブルについて

- 成年年齢の引下げにより18歳になると親の同意がなくても契約できることが増え、今まではできていた「未成年による法律行為の取消」ができなくなりました。

トラブルを避ける  
ときの

鉄則は **3**つ

まずは

**188番**  
(いやや!)

に電話

01  
おいしい話には  
気をつける

02  
向こうから近寄って  
きてもはっきり断る

03  
万が一トラブルに  
遭っても決して  
諦めない

「高校生のための金融リテラシー講座（金融庁）<https://www.fsa.go.jp/rules/index.html>をもとに作成

ゲームの課金でいつの間にか  
多重債務ってよくきくな。

SNSの勧誘にも注意が必要  
だわ。





ありがとうございました。

～最後に、アンケートのご協力をお願いします～

【生徒用】



【先生用】



■補足

ビデオクリップ教材

・主として若い世代向けのビデオクリップ教材

金融経済教育推進会議コアコンテンツ準拠

「未来のあなたのために～人生とお金と資産形成～」

資産形成の重要性  
(再生時間 約3分)



長期・積立・分散投資  
(再生時間 約4分)



非課税制度の内容・比較  
(再生時間 約4分)



\* 金融庁NISA特設ウェブサイトにて閲覧・ダウンロード可  
<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/index.html>

NISA 特設サイト



高校授業副教材

・シミュレーターを利用してお金についてイメージしよう。

<https://www.fsa.go.jp/teach/simulation/>



■補足

金融経済教育推進会議コアコンテンツ準拠



講座の特徴

- ✓ 本邦初！ 金融経済教育に関わる官庁と団体が連携して作成
- ✓ 中立公正な観点から金融リテラシーに関する基本的な事項を網羅（6分野・16テーマ）
- ✓ 講師は、金融経済教育に関わる官庁・団体の専門家
- ✓ 1回の講義は10～15分程度とコンパクト
- ✓ スマホでの視聴も想定した画面構成

「マネビタ」=「マネー」×「ビタミン」。

身体に必要な不可欠なビタミンを食物から摂り込むように、人生に必要なお金の知恵をこの講座から身に付けて「頂きたい」という願いが込められています。

(注) 大学レベルの講義を誰でも無料で受けられるウェブサービスです。

“gacco” (注) で登録すれば、誰でも、無料で受講可能！

受講はこちらから



分野	テーマ	講師担当団体
金融と経済を学ぶ	あなたの夢の実現と持続可能な社会の形成に向けて～なぜ金融リテラシーが必要か？	金融庁
	キャッシュレス決済	金融広報中央委員会
	金利と経済	
	金利の基礎	
ライフプランを描く	生活設計 ～個人で考えよう、家族で話そう将来設計	日本FP協会
	家計管理 ～夢の実現に向けお金の管理方法を学ぼう	
お金を借りる	ローンの基礎	全国銀行協会
	クレジットカード	
	住宅ローン	
お金を増やす	奨学金	日本学生支援機構
	資産運用 ～始める前に	日本証券業協会
	投資リスクの管理 (リスクの軽減)	東京証券取引所
リスクに備える	NISA・確定拠出年金	投資信託協会
	生命保険	生命保険文化センター
トラブルを避ける	損害保険	日本損害保険協会
	消費者トラブルに遭わないために～契約の基礎と最近の消費者トラブル事例	消費者庁 (協力:国民生活センター)

■もっと調べたいときは…

金融経済教育推進会議コアコンテンツ準拠

1. 金融リテラシー全般

- ▽金融庁：「金融の仕組みや金融商品などの解説」  
<https://www.fsa.go.jp/ordinary/koushi.html>
- ▽金融広報中央委員会：「知るぽると」  
<https://www.shiruporuto.jp/>

2. 個別テーマ

(1) 家計管理とライフプランニング

- ▽日本FP協会：「わたしたちのくらしとお金」  
<https://www.jafp.or.jp/know/>

(2) 使う、貯める、増やす、借りる

- ▽全国銀行協会：「教えて！くらしと銀行」  
<https://www.zenginkyo.or.jp/article/>
- ▽日本取引所グループ：「東証マネ部！」  
<https://money-bu-jpx.com/>
- ▽日本証券業協会：「投資の時間」  
<http://www.jsda.or.jp/jikan/index.html>
- ▽投資信託協会：「資産運用をはじめよう」  
<https://www.toushin.or.jp/start/>
- ▽金融庁：「NISA特設ウェブサイト」  
<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/index.html>

- ▽国民年金基金連合会：「iDeCo公式サイト」  
<https://www.ideco-koushiki.jp/>

(3) 備える

- ▽厚生労働省：「年金・日本年金機構関係」  
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/nenkin/nenkin/>
- ▽生命保険文化センター：「生命保険を知る・学ぶ」  
[http://www.jili.or.jp/knows\\_learn/index.html](http://www.jili.or.jp/knows_learn/index.html)

- ▽日本損害保険協会：「そんぽ学習ナビ」  
<https://www.sonpo.or.jp/education/>

(4) 金融と経済、金融トラブル

- ▽金融広報中央委員会：  
「大学生のための人生とお金の知恵」  
<https://www.shiruporuto.jp/public/data/magazine/daigakusei/>
- 「18歳までに学ぶ契約の知恵」  
<https://www.shiruporuto.jp/public/data/magazine/seinen/>
- 「きみはリッチ？—多重債務に陥らないために—」  
<https://www.shiruporuto.jp/public/data/magazine/rich/text/>
- ▽消費者庁：「消費者教育ポータルサイト」  
<https://www.kportal.caa.go.jp/index.php>

ALL長崎 金融リテラシー向上プロジェクト

『ALL長崎 金融リテラシー向上プロジェクト』参加団体一覧

<協議会構成団体> 順不同

銀行	生命保険協会長崎県協会
北九州銀行長崎支店	生命保険会社
佐賀銀行長崎支店	アクサ生命(長崎支社)
十八親和銀行	朝日生命(西九州支社)
長崎銀行	アフラック生命(長崎支社)
長崎中央郵便局ゆうちょ銀行長崎店	アフラック生命(長崎提携支社)
西日本シティ銀行長崎支店	オリックス生命(長崎支社)
肥後銀行長崎支店	かんぽ生命(長崎支店)
福岡銀行長崎支店(佐世保支店)	かんぽ生命(佐世保支店)
みずほ銀行長崎支店	ジブラルタ生命(長崎支社)
三菱UFJ銀行長崎支店	ジブラルタ生命(佐世保支社)
証券会社	住友生命(長崎支社)
野村証券長崎支店	ソニー生命(長崎LPC第1支社)
みずほ証券長崎支店	ソニー生命(長崎LPC第2支社)
大和証券長崎支店	ソニー生命(長崎LPC第3支社)
SMBC日興証券長崎支店	ソニー生命(佐世保支社)
信用金庫	SOMPOひまわり生命(長崎支社)
九州ひぜん信用金庫	第一生命(長崎支社)
たちばな信用金庫	第一生命(佐世保支社)
信用組合	大樹生命(長崎支社)
西海みずき信用組合	大同生命(長崎支社)
長崎三菱信用組合	太陽生命(長崎支社)
福江信用組合	東京海上日動あんしん生命(長崎支社)
九州信用漁業協同組合連合長崎統括支店	日本生命(長崎支社)
九州労働金庫長崎県本部	日本生命(佐世保支社)
商工組合中央金庫長崎支店	富国生命(長崎支社)
農林中央金庫長崎支店	マンライフ生命(長崎支社)
長崎県信用保証協会	三井住友海上あいおい生命(長崎支社)
日本政策金融公庫長崎支店・佐世保支店	明治安田生命(長崎支社)
日本損害保険協会(あいおいニッセイ損害保険)	メットライフ生命
長崎県食品安全・消費生活課(長崎県消費生活センター)	<協議会事務局> 長崎銀行協会
長崎市役所市民生活部消費者センター	<協議会支援・協力団体> 財務省長崎財務事務所/日本銀行長崎支店 以上、60団体



